

「見方を変えれば」

『短気』、『頑固』、『細かいことを気にする』、『自己中心的』、『感情的』……。

私(奥松)の短所をあげて見ました(´_`;)。もちろんこれだけではなく、考えれば考えるほど浮かんでくるのですが、今回は奥松の短所をカミングアウトするのが目的ではないので、この位にしておきます。短所を短所として捉えるとマイナス要素ばかりとなりますが、ちょっと見方を変えてみます。

『短気』→『気持ちを素直に表現できる』

『頑固』→『意志が強い』

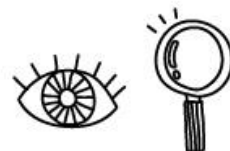
『細かいことを気にする』→『深く物事を考える』

『自己中心的』→『自分の理想にこだわる』

『感情的』→『情緒豊か』

といったように変えることができます。

そうすると「短気で頑固で細かいことを気にし、自己中心的で感情的な人」が「気持ちを素直に表現でき、意志が強く深く物事を考え自分の理想を持ち情緒豊かな人」に早変わりします。前者とはできれば付き合いたくないですが、後者はとても魅力的な人に思えてきます。



人は誰もが自分だけのメガネをかけ他人を見ています。短所を見つけようとするメガネをかけて他人を見ていれば、その人の短所ばかりが見えてきます。反対に長所を探そうとすれば、長所がたくさん見つかります。人と関わる場合、「あの人は自分には合わない、なんか気に入らない……」そんな感情が生まれるのは、相手に要因があるのではなく、自分の見方に問題がある場合がほとんどなのかもしれません。日頃どのメガネをかけるか、ちゃんと考えないとダメですね。

親子関係においても言えることです。お子さんの先々を心配するあまり、『短所発見メガネ』ばかりを通してお子さんを見すぎていませんか？指導者と生徒も同じです。「ちゃんと『長所発見メガネ』を通して子どもを見てる？」と自分に言い聞かせています。たくさん子どもたちが持つ長所を長所として伝えること、指導者として子どもたちと接する人間の大切な役割だと思っています。

教室の風景

花と触れ合う

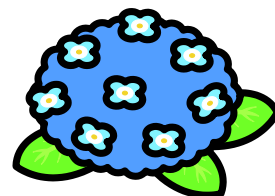
私は花の写真を撮るのが好きです。ちょうど今、紫陽花が綺麗に咲いています。花を見ていると不思議と気分が明るくなっていく気がしますよね。

ところで、よく花を育てるときに、話しかけると綺麗に咲くとか、花が長持ちするとか言われますが、実はあながち嘘では無いらしいですよ。科学的に証明できそうなのです。イギリスのブリストル大学の生物化学教授ダニエル・ロバート氏らの研究で、蜂と花に関する

研究によれば、蜂と花はそれぞれ電荷を持ち、電界という空間を自分の周りに作ります。蜂たちは花の電界を感知して色の違いを早く認識でき、蜜が集めやすくなります。一方、蜂と接触した花は、充電されて色や香りを増幅しているそうです。花は蜂をいっぱい集めて、受粉を促しやすくさせています。これは人間と花でも同じことが起こっているそうですよ。

みなさん、気分がのらない時は、花と触れ合ってみてはいかがでしょうか。自分も花もお互いに元気になっていくことは間違いないでしょう。

インストラクター 伊勢豊



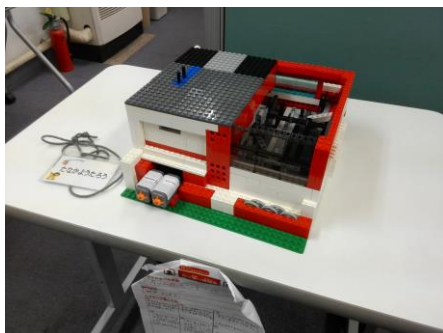
作品★紹介 『アミューズメントパーク2015特集』



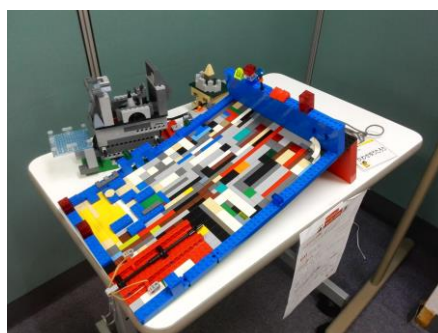
ボーリング型ゲーム。途中にボーナスポイントを獲得できる仕組みがあります。



スロット型ゲーム。3個の数値が揃うとお祝いのメロディーが流れます。



ピンボール型ゲーム。タッチセンサーを使ってパドルを操作できます。



ピンボール型ゲーム。お金を入れると遊ぶためのボールが出る仕組みがあります。